

～ 楽しかった「学校生活」の思い出 ～



みやもと たかお
宮本 崇央 さん
(4年生)

下根来小学校で過ごした4年間、いろいろなことを学びました。また、みんなでしゃべりながら登校したり遊んだりして楽しかったです。

下根来小学校はみんなが仲よく、とてもいい学校です。なくなってしまうのは寂しいです。



やまもと あみ
山本 亜美 さん
(3年生)

わたしは下根来小学校が大好きです。この3年間、いろいろな行事があり楽しかったです。これまでのことはずっと忘れません。

学校がなくなるのは悲しいけど、遠敷小学校へ行っても今までと同じように頑張りたいです。



にしおか たくま
西岡 拓真 さん
(3年生)

僕は下根来小学校が大好きです。周りには緑があり、川もきれいです。楽しいことがたくさんあります。

3月で学校がなくなるので寂しいです。4月からは遠敷小学校へ行きます。緊張するけど楽しもうです。



やまもと みき
山本 美希 さん
(6年生)

わたしは、2年生の3学期に転校してきました。みんなで勉強したこと、遊んだこと、遠泳大会や修学旅行…。楽しく過ごした、思い出のいっぱいある学校がなくなるのはすごく寂しいです。下根来小学校のことはずっと忘れません。



「下根来小学校」134年の歴史に幕



おうちの人に教えてもらいながら、もちつきをしました



昔のアルバムを見る親子。お父さんが小学生のときはこうやったんやで…



ぜんざいを食べながら談笑

「学校公開イベント」開催される

二月二十四日に開かれた同イベント。訪れた保護者や地域の人たちは、児童といっしょに食事をしたり、懐かしい写真を見たりして、思い出話に花を咲かせていました。



やまもと なおや
山本 直哉 さん
(1年生)

僕は下根来小学校の友達が好きです。けがをするとすぐに助けに来てくれて、とてもやさしいんだ。学校の周りは自然がいっぱい。山や川がきれいだよ。

僕は、下根来小学校の友達と周りの自然が大好きです。

人口百十二人(三月一日現在)の下根来区。同区には、お水送りの送水神事などが行われる「鶴の瀬」、若狭湾で取れた魚介類などを京都へ運んだ「鯖街道」のほか、良弁和尚の伝説にも出てくる「イヌワシ」やさまざまな動物たちが生息しています。

このような歴史と豊かな自然に囲まれた小さな集落に、「下根来小学校」があります。

同校は明治七(一八七四)年八月、精熟小学校として創設されました。当初は見昌寺を仮校舎としていましたが、同四十一(一九〇八)年に現在地に校舎が建てられました。昭和二十六年の

市制施行で「小浜市立下根来小学校」となり、同五十年に現校舎が新築されました。

大正十二(一九二三)年には五十六人の児童が通った同校ですが、昭和五十五年以降は十人以下の年がほとんどで、現在は全校児童五人という状況です。

児童数が少ないため、授業は低学年と高学年に分かれて行っていますが、小規模校である特性を生かし、個に応じた指導を徹底してきたほか、地域の自然や歴史を学ぶ活動に取り組みしてきました。茶摘みや釜いり茶作りなど、体験学習を通して「心の教育」「食の教育」にも力を入れてきました。

また、音楽教育や英語学習にも積極的に取り組み、視野を広げ自信を持つて自分を表現できる児童の育成を目指してきました。

しかし、昨今の社会情勢や少子化の進行などから、遠敷小学校との統合が避けられない状況となり、市教育委員会と地域の皆さんとで協議を重ねてきた結果、三月三十一日で百三十四年の歴史に幕を下ろすことになりました。

教育の場、区民の交流の場として重要な役割を果たしてきた下根来小学校。三月十四日には卒業式が行われ、山本美希さんが同校最後の卒業生として巣立っていきました。

「下根来小の歴史」

- 明治7年8月 前身の「精熟小学校」創立。見昌寺が仮校舎
- 同15年4月 中の畑、上根来を分離し、校舎を布谷口へ
- 同19年 「簡易科精熟小学校」と改称
- 同22年5月 遠敷村立「尋常科精熟小学校」と改称
- 同25年4月 遠敷村立「精熟尋常小学校」と改称
- 同38年4月 「下根来尋常小学校」と改称
- 同41年5月 現在地に校舎新築落成
- 大正12年5月 校舎改築落成。二階建てに
- 昭和9年4月 校庭拡張
- 同16年4月 遠敷村立「下根来国民学校」と改称
- 同22年4月 遠敷村立「下根来小学校」と改称
- 同26年4月 小浜市立「下根来小学校」と改称
- 同50年12月 現校舎新築。校庭拡張
- 平成20年3月 遠敷小学校と統合。閉校



小浜小学校建設期成同盟会
会長 内藤 好信 さん
(67 歳・小浜住吉)

このような立派な学校を建設していただき、同盟会の会長としてたいへんうれしく思っています。完成までの道のりは平坦ではありませんでしたが、これも行政や地元の皆様のご協力のおかげだと感謝しています。

新しい校舎は、木材などの自然素材を多く使った温かみのある建物で、あちこちに太陽の光を取り入れる工夫がしてあります。念願であった直線 100m 競走ができる広いグラウンドも完成し、皆さんからのご寄付により、夜間でも使用できるよう照明設備などを設置させていただきました。

子どもたちは 4 月から、このすばらしい環境の下で学校生活を送るわけですが、感謝の気持ちを忘れずに、大切に使用していただきたいと思います。小浜小学校で「知育・徳育・体育」を学んだ子どもたちが、社会に貢献できる人に成長されることを願っています。



昭和 34 年に建設され、「めがね校舎」の愛称で親しまれてきた小浜小学校。老朽化などから市では、平成 18 年度から駅前町に新校舎の建設を進めてきました。

平成 14 年度に建設構想がまとまり、同 16 年度にはプロポーザルにより設計者を選定。設計内容については、小浜小学校建設準備委員会の提言やワークショップにより市民の皆さんの意見を取り入れました。

このように、多くの皆様のご理解、ご協力のおかげで工事は順調に進み、3 月 23 日には盛大に竣工式が行われ完成を祝いました。

子どもたちは 4 月から、この新しい小浜小学校で「確かな学力」「認め合う心」「たくましい体」の知徳体の教育と、「ふるさと教育」「食の教育」「心の教育」などの総合的な学習に取り組みます。

規模構造：鉄筋コンクリート造、3 階建
敷地面積：16,000㎡
延床面積：6,087㎡
建物概要：普通教室 12 室、特別支援教室、特別活動室、調理室、図書室、多目的ホール、屋内運動場、プール、グラウンド ほか
総事業費：約 26 億 8,000 万円

自然素材をふんだんに取り入れた新校舎完成！

「小浜小学校」



【中庭】

校舎の中心部に位置するだ円形の中庭。人工芝が敷いてあり、集会活動や屋外授業などに使用するほか、採光通風に役立つようになっています



【屋内運動場】

小学生用のバスケットボールコート 1 面と小学生用バレーボールコート 2 面が取れる大きさで、休日などに一般開放しやすいよう、渡り廊下部分に出入り口を配置してあります



【図書室・閲覧室】

中庭に隣接し、明るく開放的な雰囲気になっています。足を伸ばして読書ができるよう、畳コーナーが設置してあります



【普通教室】

多様な学習形態に対応するため、小浜市では初となる、オープンスペース形式を採用。教室配置を 45 度傾けることで、景観のよい南東側に面するようになっています